

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでい ることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けるこ とを支えていくサービスとして、事業所独 自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続 けることを大切にした理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえよう取り組んで いる		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるように 努めている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活動 に参加し、地元の人々と交流することに努 めている		

<p>項 目</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p>	<p>○印 (取組んでいる項目)</p>	<p>取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)</p>
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)</p> <p>近隣の方が時々遊びに来られ、一緒にお茶をすることがあります。運営推進会議の時には、地域の代表の方と相互に協力させていただくことをお願いしています。</p>		
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の意義を理解し、管理者、計画作成者、職員で自己評価を行い、意見を交わし、ホームの改善向上を図る。</p>		
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームでの現状、生活の様子、行事報告を行い、要望、意見、アドバイスを聞き、サービス向上に努めている。</p>		
<p>9</p> <p>○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援からの安心サポートや認定調査の方に情報を得ている。</p>		
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在1名利用されている方がいます。スタッフも理解しています。</p>		
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>社外での研修で学んでいます。利用者様の尊厳に努めています。</p>		

項 目	実施している内容・実施していない内容	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、会社、ホームの理念、運営方針、金銭面等を十分説明し、納得いただけるようわかりやすく、誤った理解の無いよう丁寧に説明しています。		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置したり、意見、不満、苦情を聞き漏らさないよう努めている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には日々の生活の様子、健康状態を報告し、必要時には電話をしている。職員の移動時はその都度説明している。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に意見箱を設置したり、時々アンケートを送付し、意見、不満、苦情を聞き、その都度話し合い、サービス向上に努めている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度運営者を含めたカンファレンスを実施し、意見交換をし、話し合っている。常に意見を聞ける環境に努めたい。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事、通院等に対応できるように勤務態勢をとっている。職員にも了解を得ている。		

項 目	実施している内容・実施していない内容	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18. ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者になじみの職員の異動で不穏にならないよう、個々にあった説明を職員間で共有し、同じ説明を何度も出来るよう対応している。		
5. 人材の育成と支援			
19. ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務調整を行い、全ての職員が社内外の研修に参加できるよう対応している。職員本人のスキルアップにつながるよう配慮している。		研修者は確実に伝達研修を行い、各自研修報告を提出している。
20. ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム会議に出席し、他施設との情報を交換し、ネットワークを広げている。		今後続けたい。
21. ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的に職員との面談にて意見や要望を聞き、職員個々の対応に努めている。		
22. ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者はほめカードを活用し、職員の勤務努力を評価し、各自の向上心に努めている。		スタッフに研修の有無を知らせ、参加しやすい環境を整える。

項 目	実施している内容・実施していない内容) (取り組みの事実	〇印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>〇初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	本人様から直接聞くことは難しいと思われるが、会話の中でその方の不安や悩みを理解するよう努めている。会話をよく傾聴、思いを聞き出せるよう努めている。	
24	<p>〇初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ホームを見学していただき、ご家族様、ご本人様の面談・契約時などにおいて、本人様の状況、ご家族様の状況、在宅生活で困っていたこと、等を聞き、入居された後の生活の希望をお聞きします。	大事な家族様をお世話させていただく姿勢で家族様と一緒に不安梁や悩みを受け入れたい。
25	<p>〇初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご家族様、ご本人様に面談し、希望に添った援助が出来るか速やかに対応します。グループホームへの入居が最善でない判断したときは、他のサービスを紹介します。	介護保険や保険外サービス、医療、在宅等の知識を身につけたい。
26	<p>〇馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染ませながら工夫している</p>	事前に生活歴、心身機能を把握し、なじみの家具、衣類、小物などを持ち込み、少しでも自宅雰囲気に近づけている。本人のペースにあわせて生活をします。家族様との情報交換。	友人との生活歴も聞くようにしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	人生の先輩として尊敬し、その人らしさを見失わないように支援し、信頼される職員になるよう努めている。	家族様とは違った方面で本人の内面を引き出し、共に過ごし支え合えるように努めたい。

項 目	実施している内容・実施していない内容	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	グループホームは入居者様、ご家族様、職員が協力し、入居者様の生活を支えています。面会時には入居者様の生活状況を説明し行事やレクにも参加いただいています。	○	精神的サポートは家族様の方が大きな影響を与えることを配慮している。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	家族関係に考慮しながら家族様の考え、思いも取り入れ一緒に関わってもらえるようにしている。面会しやすく職員とも話しやすい雰囲気になるよう努めている。	○	ご家族様との連携を大切にしたい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時ご家族様、有仁様に何時でも遊びに来て頂けるようお願いしています。ご家族様より生活歴等をお聞きし外出する事もあります。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングでの様子、その人の居場所を確保し入居者同志の関わりがスムーズにいくようにしている。特には職員がパイプになり会話を楽しめるよう図っています。	○	入居者同士で支えあえる環境を作りたい。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了しても、入院・他施設入所などの相談に乗っている。在宅生活に戻られた方がおられませんか。	○	暑中見舞い・年賀状の送付

項 目	(実施している内容・実施していない内容)	取り組みの事実 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活において1人1人の御利用者の様子、表情に気を配り本人の訴え聞いたり理解し、改善策を職員間で話し合い本人様の意向に添った介護に努めている。	○ 毎日の御利用者様の变化に気を配り、本人様の抱えている問題を引き出せるようコミュニケーションを図りたい。家族様協力をお願いする。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービスの利用の経過等の把握に努めている	入居時本人・家族・関係者様からの情報を入居しからの追加収集を行っている。普段の会話にも注意を払う。	○ 職員全員共通の情報として把握出来るように努めたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々に関わりの中で観察し、個その状況を把握した事を職員全てに共有している。	○ 有する能力が発揮できるよう支援したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日の申し送り、カンファレンス時職員の意見を聞き、また面会時には御家族に現状報告し意見を聞き、生活歴の意見を聞いている。それらを元に介護計画を作成し同意を得ている。	○ 状態の変化に応じ主治医、御家族様、ホーム側で話し合っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	短期・長期目標を掲げ支援を心掛けている。変化があった時はカンファレンスを開き御家族様にも意見を聞き現状に即した計画を作成し御家族様に同意を得ている。モニタリングもしています。	

項 目	実施している内容・実施していない内容	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている		医療連携での訪問看護・介護タクシー福祉用具の相談・レンタル・通院時の支援等の紹介をしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○	地域との関わりを大切に公共機関との協力も検討したい。近隣の小学生との交流
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		現在は協働はしていません。アドバイスを頂いています。運営推進会議時にアドバイスを頂いています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	入所時御本人様、御家族様に提携医の説明をし納得を頂いた上月二回の往診をお願いしている。他科の受診が必要な時には紹介状をお願いし適切な治療を受けられるようにしています。	○	提携医には何日でも相談できるようにお願いしています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医は認知症にも詳しく利用者様の変化にも適切に職員にアドバイスがあり御家族様にも状況を説明されています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師が週1回来ています。職員からの相談も気軽に対応され利用者の健康管理・家族様への報告をしています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の本人に面会したり御家族様入院先の医師、施設を話し合い早期に退院しホームでの生活が出来るよう支援援助している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に終末期の方針を話し合っている。入居者様の変化に必ずその都度三者で話し合い方向を決めている。家族様の意向を大事にしている。	○	本人・御家族様の意向を職員間に共有しそれに添った支援をしている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居時に本人、御家族様に事業所のできることでできないことを説明し納得して頂いています。入居者の変化に必ず対応出来るよう努めています。	○	御家族様には情報を頻繁に連絡します。

項 目	実施している内容・実施していない内容	〇印 (取組んでいる 項目)	取組んでいききたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱い扱いをしていない</p>	○	入居者様の尊厳やプライバシーの保護について日々の業務の中で職員一人一人が認識出来るよう努めたい。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	行動に移す前に意思や意見を聞くようにする。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	常に清潔に保てるよう支援しています。好みの洋服を聞きます。

項 目	(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	刻み食や水分にトロミをつけたり食べやすいよう工夫しています。盛付けや調理法に工夫し利用者に喜ばれるように努めています。	○	本人の好みの湯呑み・箸・茶碗を使用してもらっています。一緒に後片付け・テーブル拭き・食器洗いや、能力に応じた仕事をしてもらっています。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物は希望をお聞きし用意します。時々季節感のあるおやつを用意します。酒・たばこは現在希望されていません。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの方や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し、排泄誘導しています。		
57 ○入浴を楽しむことのできる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応冬場週2回夏場は3回と決めているが希望があればいつでも対応しています。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	毎日居室は掃除・換気をしシーツも清潔保持に努めています。いつでも利用者様が気持ちよく休息できるように配慮しています。	○	シーツのチェック表も作成しています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を把握しその人の楽しみが持てる時間を作りたい。その人の出来る役割を楽しんでほしい。散歩・喫茶店・外食と外出の機会を増やしてほしい。	○	レクレーションを頻繁に取り入れ利用者の残存機能や活力を引き出せるよう努めたい。利用者様が御家族様・職員と一緒に楽しめる時間に取り組みたい。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことへの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○	時々近所のコンビニへ行き一緒におやつや化粧品などを買います。自分で支払される方もいます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○	公園での昼食を頻繁に行きたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	○	時には職員も同席し話し合うこともあります。
(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○	介護保険法指定基準における身体拘束禁止の対象となる具体例を職員が勉強し理解できるように努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけたケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけたケアに取り組んでいる	ホーム前が車通りの多い道路なので安全の為実施しています。	○	玄関先でお茶・おやつを食する時はドアを開け開放しています。開鍵を指していきたい。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りは常に行っています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物は一律に鍵をかけ保管しています。御家族様にも説明し利用者様に必要としない物は持ち帰ってもらうなりホームで預かっています。	○	使う時は職員も一緒に作業し見守りを重視しています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に見守りを重視対応が遅れないよう注意しています。利用者様個々の危険性を職員間で共有し注意しています。ヒヤリハットの記入等で再発防止に努めている。	○	薬の服用は二人確認で行っている。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急連絡網を確立し職員全員対応連絡している。応急手当や初期対応方法をホームドクター（提携医）より日頃指示を受けています。	○	消防訓練の実施
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練の実施・近隣、地域との交流を持つ。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	○	家族が理解できるよう丁寧な説明に努めていま す。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている		職員が毎日のサービスの中で個その体調を認識し ており少しの変化でも見逃さないようにしていま す。職員間での申し送りをし変化の大きい時は提 携医の受診をお願いしています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている		職員全員が薬の理解に努めています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		排泄管理をし水分チェック、食事量等に注意して います。便秘に気をつけています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている		毎食後の口腔ケアを行っています。口腔内の清 潔を重視しています。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている		栄養のバランスのとれた献立で提供しています。 水分量チェックを行いますポータブルドリンク・ジュ ース等を提供する時もあります。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		感染症の勉強会を行いたい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○	開鍵をし近隣の人等がいつでも訪問しやすい雰囲気にした。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		

項 目	実施している内容・実施していない内容	〇印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	○	親類・友人から送られてくる写真を居室に貼りま す。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している		手を出す前に声掛けをし見守りしています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している		
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている		植木・花の水やりを一緒にし花の成長を楽しみま す。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)